



〒915-0823  
 福井県越前市本町10-2  
 親縁山 大寶寺  
 TEL/FAX (0778) 22-1682

### 秋彼岸法要のご案内

9月23日

早いもので猛暑の夏も過ぎ、朝夕はめっきり涼しくなってきた今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、例年のごとく彼岸の中日に法要を勤めますので案内申し上げます。例年、午後二時にお勤めをしておりますが、今年には午前十時にお勤めを致しますので、お墓参りのおり、ぜひ本堂の方まで足をお運び下さい。

### 秋彼岸中日法要

九月二十三日(火)

午前十時より

お墓参りの際は、本堂にお入り頂き正面の阿弥陀様に  
 お手を合わせ下さい。

### 平成23年 法然上人800年大遠忌

法然上人の800年大遠忌が二年あまりとせまってきました。大寶寺では、知恩院への各戸3万円を目標とした浄財の志納をお願いし、また、昨年は大寶寺ならびに浄土寺にて800年大遠忌のお待ち受け法要を修してまいりましたが、今後予定されている行事などについてお知らせいたします。

#### 8万人念仏結縁・80万遍念仏相続

法然上人のみ教えを相続するため、県内七つの組の各寺院において、おつとめ・別時念仏・礼拝・法話などの会を催します。会場が他のお寺の場合にも参加頂けます。日時などは今後、決定しだいお知らせします。ぜひ、積極的にご参加下さい。

#### 前進座公演「法然と親鸞」

平成21年3月25・26日

浄土真宗10派の信徒の方々とともに福井市文化会館にて中村梅之助、嵐圭史の演ずる前進座の公演「法然と親鸞」を鑑賞します。参加費用など決定次第連絡します。



#### 知恩院大遠忌法要

平成23年3月27日～4月25日

知恩院の大殿にて江戸時代中期から継承されてきた古式にのっとり、30日間の法要をおつとめします。大寶寺でもバスを仕立てて団体参拝する予定です。

#### 和順会館改築

おてつぎ運動の宿泊所としておなじみの和順会館の改築工事が、本年11月から始まります。大遠忌法要までには完了する予定です。

9月12日、朝日町プラントピアで一足先に秋を見つけました



### 世界の平和と幸福を願う

21世紀に入って、テロや戦争がやまない日はありません。アメリカの同時多発テロ、アフガン、イラクと暴力の連鎖がやむことはありません。チェチェン、スリランカほか世界の各地で武力紛争が頻発しています。

平和の問題は、先進国と発展途上国間の経済的な不平等、民族間、都市一地方間の貧富の差、さらに公衆衛生と人口問題、人権・環境問題さらには、本来平和を希求するはずの宗教それぞれ自身が、平和を阻害している現実があるなど、多様で困難な問題が関連しています。世界の多様さを前提とした仏教の智慧は、これら困難な問題を解く鍵を有しているものと、私たちは考えます。すべての生き物が、共に生きるという仏教の縁起の教えに従い、生きとし生けるものの幸のために、ひとりの仏教徒として、いますべき事を真剣に考えたいものです。



### 平和念仏募金にご協力を

毎月25日は世界平和念仏の日

#### 浄土宗平和協会(JPA)の歩み

1. 設立 浄土宗平和推進協議会として(平成2年12月)
2. 平和推進大会の実施(平成3年～平成7年)
3. 太平洋戦争ならびに原爆被災者慰霊法要(平成6年～同8年、広島、長崎、沖縄各地)
4. NGO支援活動(平成9年より現在)
5. 平和念仏募金活動＝旧聖日献金活動(平成9年より現在)
6. 緊急募金活動
  - 主な募金、支援活動
  - 湾岸戦争難民救済募金(平成3年、募金総額約2000万円)、イラク・アフガニスタン救援募金(平成15年、募金総額約440万円)、インド洋津波被災地救援募金(平成16年、募金総額約1500万円)
  - いずれも、ユニセフ、国連難民高等弁務官事務所、日本国際ボランティアセンターなど連携
7. スタディーツアー(平成14年より、カンボジア、ラオス、ミャンマーへ実施)



### 浄土宗平和協会

Jodo Shu Peace Association (JPA)  
 (旧・浄土宗平和推進協議会)  
 〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 浄土宗人権同和室内  
 TEL 075-525-0484 FAX 075-531-5105  
 E-MAIL jinken@jodo.or.jp  
 郵便振替口座 口座番号 01020-5-16369 浄土宗平和協会

年会費 5,000 円で個人会員を募集しています。お問い合わせは浄土宗平和協会、もしくは大寶寺まで。

トピックス

芦山地蔵尊祭礼 7月24日

村国町二丁目にある地藏尊は、土地の有力者で、大寶寺の檀家であった表家がお守りをしていました。表家が途絶えた後、地区の人々が現在の場所に移転して芦山地蔵尊としてお守りをしています。

毎年大寶寺の住職が導師を勤めていますが、今年は連日の猛暑の中7月24日の2時に祭礼がいとなまれました。3時からは地区の子どもたちにお菓子が振る舞われるとのこと、夏休み中の子どもたちが大勢集まりました。



大寶寺総墓参り 8月10日

法林寺永代経 8月16日

浄土寺施餓鬼会 8月17日



8月10日、総墓参りと盆施餓鬼の法要が勤められました。外は猛暑でしたが、本堂内は天井が高いこともあり、時折涼しい風が吹き抜けました。また、当日は日曜日だったこともあり、大勢の方々が家族連れで訪れ、お墓参りをしたり、水吹き地蔵隣の総墓に、お花や水塔婆が供えられました。11日から16日にかけては、住職と若が棚で各家のお仏壇にお参りしました。また、16日の午後2時から、具谷の法林寺にて永代施餓鬼会法要を勤めました。猛暑が一段落した17日には、湯尾の浄土寺にて盆施餓鬼の法要を勤めました。

おかげさまで親縁も30号を超えました。  
<http://shinenzan.com>の寺報・親縁をクリックして頂くと、バックナンバーがご覧頂けます。

濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

三輪清浄2 (布施の心)

布施は仏教において大切な修行である。布施には形のある物、たとえば食べ物や、金品、あるいは建物などを施す財施と、そうではなく無財のものもを施すこと、たとえば柔和な表情で相手と接する顔施、また、やさしいことばで人に語りかける言施などがある。また、布施が成り立つためには、能施(布施する者)、所施(受け取る者)、施物(布施そのもの)の三者が清らかであることすなわち三輪清浄であることが求められる。

では、なぜこれら三つのものが「輪」なのであろうか。漢字源によれば「輪」には「順序よくめぐると」という意味がある。所施は能施から施物を「受け取るのであるが、一方的に受け取るだけではいけない。所施は必ず自らが能施として、他者にお返しをするべきである。なぜなら、そうすることで、能施、所施、施物の三者が、順序よくめぐることになる。もちろん清浄な心も、同時にめぐることになる。仏教では布施は慈悲の心を持ってせよと説かれるが、清浄な心とはすなわち慈悲と置き換えてもよい。

布施の「布」には「広く行きわたらせる」という意味があるのだが、あたかも転がした反物が床を覆うがごとく、三輪清浄の布施を通して慈悲の心、つまり人を思いやる心が世間に広まっていくことを仏教は勧めるのである。

朝、ゴミ捨てに行くとき時折、近所の小学生の女の子とでくわすことがある。「おはよう」と、くつたくのない笑顔で挨拶してくれる。こちらから

声をかけることもある。帰りに出会うと、「こんにちは」とか「お帰り」と挨拶し、一言、二言ことばを交わす。どんな表情をしているのか、自分では確かめようもないが、しかめっ面をしていないことだけは確かだ。この場合のようなわかまりのない笑顔での挨拶の交換は、顔施ならびに言施、すなわち、三輪清浄の布施行に他ならない。高邁な思想を説いたり難行・苦行を勧めるばかりが仏教ではない。むしろ、人生を全うするのための日常の心がけ、また、行いを説くのが釈尊の教えである。

家庭にせよ学校にせよ、あるいは会社や町内にせよ、挨拶がにこやかに交わされる人の集りに身を置くことの心地よさ、また、その反対の殺伐さを、誰でも知っているはずだ。まずは、挨拶から、三輪清浄の布施行を実践してみたい。

合掌

布施は人のためならず

施しを受けたら、相手、もしくは他の人に施しをすることで、施物、また、慈悲の心はめぐりめぐって、自分のところに帰ってくる。

